

しま 地域だより

8
月号

サザンクリーンセンター推進協議会



湧水
地域の井

与那原親川

所在地 / 字与那原556 (網走資料館敷地内)



与那原町新島区にある「与那原親川」。琉球王朝との関わりも深く、国王の久高参詣の東廻りや琉球王朝の最高神女である聞得大君の御新下（うあらう）りの際の最初の休憩地として「お水撫で」の儀式を行ったとされる。現在に至っても拝所（うがんじゅ）として人々から常に厚い信仰を集める由緒ある泉である。

豊富な湧き水は周辺の水田を潤し、おかげでこの地域一帯は毎年のように豊作が続く。米の宝庫といわれていた。戦前の泉は、現在よりも一回り大きく、三段の石段から成る円形状を形どっていたという。昭和55年の復旧工事の際に、泉を囲む立派な祠、石灯籠、手洗い場が造営された。戦前からこの地に住む新垣良英さん（91歳）にお話を伺った。

「昔、あの泉の水量はかなり豊富で、湧き出す水があまりにも多いので、当時の人々は泉から少し下ったところに溜め池を造り、水を貯めて使っていたんですよ。」

いにしへの歴史を今に伝える遺産として、また、与那原を育んだ母なる水源として、この泉は今も尚、人々から崇められ続けている。

サザン協理事会 基本方針を確認

ごみ処理施設の一元化も検討

南部地域におけるごみ処理を一体的に進めるため組織された「サザンクリーンセンター推進協議会」の理事会が、去る7月10日午後3時から、南部総合福祉センターで開かれた。

理事会では、サザンクリーンセンター施設整備に係る基本方針、施設整備に係る地域振興費、事業主体、ごみ処理基本計画、建設候補地、ごみ処理方式の6点についておおよそ次の内容で協議が行なわれた。

- ① 施設整備については次の基本方針で臨む。
 - ・5市町の焼却残渣物の処理については、自前の処理施設ができるよう行政、議会、住民が丸となって取り組む。
 - ・建設に当たっては、旧南廃協での議論を継承しつつ、全理事の責任でこれを遂行する。
 - ・施設の建設地については、5市町の均衡ある広域的配置を勘案する。
- ② 地域振興費については、第二部会の審議結果を踏まえて理事会で決定する。
- ③ 事業主体については、南部広域行政組合、東部清掃施設組合、島尻消防清掃組合の3組織を統合した新組織を事業主体とする。
- ④ ごみ処理基本計画については、東部清掃施設組合、島尻消防組合から出る焼却残渣物及び糸満市・豊見城市清掃施設組合から出る豊見城市分の焼却残渣等を処理する基本計画とする。
- ⑤ 建設候補地については、第一部会の審議結果を踏まえ理事会で決定する。

⑥ ごみ処理方式については、第一部会の審議結果を踏まえて理事会で決定する。

また、会議ではごみ処理問題に加え、老朽化が進んでいるし尿処理場を一元化することも視野に入れた協議がなされた。事業主体となる意思決定機関を統一することによって、財政面の負担軽減、環境負荷の軽減、ごみ処理やし尿処理施設、斎場など環境関連施設の広域的で均衡のとれた配置が図られ、地域住民の福祉の向上が図られるとした。

古堅会長は、「今後は、行政が住民を説得するのではなく、住環境に密着したこれらの問題に対しては、地域の方々が議論を深め、必要な施設などに対しては自己決定していく方向でいかなくてはならない」と述べ、主体的に住民が関わるべきだ、との考えを示した。



今後、南部のごみ処理を一元化していくことが確認された

第1部会

先進地視察を実施

第1部会(照屋義実会長)は県内と県外のごみ処理施設の視察研修を行った。6月29日は県内の東部清掃施設組合を皮切りに島尻環境美化センターの視察、7月2日は浦添市クリーンセンター、那覇・南風原クリーンセンターを視察している。また一行は、7月4日から6日まで二泊三日の日程で、福岡、熊本、宮崎の先進地の視察も実施した。

知名定一さん

百聞は一見に
しかずで実際の
現場を見て非常
に参考になった。



間違えようなすばらしいものだ。
リサイクルプラザは必ず21世紀の
環境教育に必要とされてくるだろ
う。

照屋義実さん

実際にごみ焼却
現場を見て理解で
きる部分が大い。ごみの出口を
知ること、住民が積極的に視察
できる環境を整備することが重要
だ。ごみの分別を意識することで
その後の処理が全く違う。特に台
所に立つ機会の少ない男性に現状
を知ってもらいたい。



大城順子さん

施設建設の必
要性は感じるが、
莫大な運営費を
サザン協の構成市町が負担してい
けるのか。
用地選定に時間をかけるのはよ
いが、建設後の運営シミュレーシ
ョンにも議論のウエイトをかけな
ければならない。



川井義喜さん

今後、南産協時
代に取り組んだ
灰溶融炉施設と
被覆型最終処分場を基本線として
進めていくべきか、最終処分場に
依存しないガス化溶融炉方式に転
換するのか。予算などの現実的な
問題を考慮しながらもう一度整理
してみたい。



大城秀雄さん

自家発電シス
テムの必要性は
感じる所だが、糸
満市が加わらない限り、5市町の
ごみ量では建設は無理だろう。一
定のルールの元で糸満市と協働し
灰溶融でスラグにして資源化する。
最終処分場建設はスラグをストツ
クするヤードなど必要最低限のも
のだけで済む飛灰については浦添
方式で九州に送り出す方法でもよ
いのではないか。



山口修さん

どの施設も巨
額の建設費が必
要とされるが、将
来の子どもたちにツケを回さない
ためにも、現段階でしっかりとし
た資本投下をしておかなければな
らない。課題点は、サザン協を構
成する五市町から出るごみ量では自
家発電システムが併設できないと



上田規子さん

都城市高崎の最
終処分場は民家の
真ん中にあり、ど
のように住民の理解を得たのか。建
設までの道のりを勉強したい。さら
に、ごみ減量の必要性を再認識した
こと。
南部は一つという南産協の考え
をもう一度振り返り、再度糸満市
とも歩調を合わせてはどうか。そ
うすることでスケールメリットが
生まれてくるだろう。



諸見里米子さん

先進地の施設
はダイオキシン
の排出を含め安
全性への点で評価できる。事務局
への要望だが、今回の視察先の資
料を元に機種の評価一覧を策定し
て欲しい。那覇・南風原の燃焼式
トーカー炉+電気式灰溶融炉方式
がサザン協にマッチしているの
はないかと思う。



視察先の施設概要は時効へ

視察の流れ



東部清掃施設組合

6/29



島尻環境美化センター



浦添市クリーンセンター

7/2



那覇・南風原クリーンセンター



福岡県玄海環境組合宗像工場 (シャフト(コークス)式ガス化溶融)

7/4



玄海環境組合古賀工場 (キルン式ガス化溶融)



熊本県有明広域行政組合 (流動床式ガス化溶融)

7/5



宮崎県クリーンコアたかさき (被覆型最終処分場)

7/6

【各施設の概要】

■浦添市クリーンセンター

【敷地面積】

14,000㎡(クリーンセンター)
9,066㎡(リサイクルプラザ)

【処理能力】

- 焼却炉
150t/24h(75t/24h×2基)
- 溶融炉
16.3t/24h
- リサイクルプラザ
紙類:20t/5h(日) 容器類:20t/5h(日)



■那覇・南風原クリーンセンター

- (1) 処理方式 全連続燃焼式ストーカ炉(廃熱ボイラ付)+電気式灰溶融炉+破碎選別設備(もやさないごみ、粗大ゴミ)
- (2) 処理能力 ①焼却炉………450t/日(150t/日×3炉)
②灰溶融炉………52t/日(26t/日×2炉)
③破碎選別設備…39t/5h(不燃ごみ、33t/5h、粗大ゴミ6t/5h)
- (3) 発電容量 8,000kw



■クリーンパークファイブ

有明広域行政事務組合は1市3町(玉名市・長洲町・南関町・和水町)で構成されている。(対象人口は約5万6千人)

- ①焼却施設(機種)…流動床ガス化溶融炉
「25t×24h×2炉」=50t/日
- ②リサイクル施設…不燃性粗大ゴミ、金属類、ガラス類
処理能力=4.5t/5h
- ③ストックヤード棟…資源ごみ、リサイクルゴミ、有害ゴミ(4.5t/5h)
- ④プラザ棟……………管理室・展示室・会議室・工房室



■福岡県玄海環境組合(古賀工場)

古賀工場は、古賀市、福津市、新宮町のゴミを処理している。対象人口は約14万人。

- ガス化溶融炉
ごみ熱分解・燃焼溶融施設(キルン式)
260t/日(130t/日×2炉)
- 埋立処分施設
埋立面積:1,770㎡・埋立容量:11,505m³
- リサイクルプラザ
処理能力:48t/5h



■クリーンコアたかざき

施設は高崎町中心部に近い位置にあり、従来のオープン型処分場ではなく、地域からの要望(埋立物の飛散、騒音、カラス被害防止等)によりクローズドシステム処分場となっている。これにより、環境管理も容易でクリーンなイメージが得られている。

- ①敷地面積…44,236m²
- ②埋立面積…11,700m²
(埋立地I=10,200m²、埋立地II=1,500m²)
- ③埋立容積…77,700m³
(埋立地I=68,400m³、埋立地II=9,300m³)
- ④埋立対象物…焼却残渣、溶融飛灰、破碎残渣、破碎物(ガレキ等)
- ⑤埋立期間…平成17年度～平成31年度(15年間)
- ⑥浸出水処理施設…104m²(処理能力=24m³/日)
- ⑦付属施設…管理棟 370m²、車庫棟 42m²



■福岡県玄海環境組合(宗像工場)

玄海環境組合は3市1町(宗像市・福津市・古賀市・新宮町)で構成されている。(宗像工場は宗像市のゴミ限定で処理している。対象人口は10万人)

- ガス化溶融炉
直接溶融資源化システム「160t/24h(80t/24h×2炉)」
(飛灰に関しては山元還元処理)
- 埋立処分施設
飛灰をキレート剤とセメントで固化してフレコンバックに詰めて仮置きしている。予算措置が出来れば、取り出して再資源化(山元還元)を予定している。
- リサイクルプラザ
不燃・粗大ゴミ、資源ゴミを処理:40t/5h



サザン協8月のスケジュール

| | |
|----------|--------------------|
| 8月6日(月) | 市町長会議(定例会)7:30～ |
| 8月9日(木) | 第1部会14:00～ |
| 8月9日(木) | 理事会・第1部会合同会議16:30～ |
| 8月22日(水) | 第1部会14:00～ |
| 8月24日(金) | 正副会長会議～ |
| 8月31日(金) | 理事会15:00～ |

発行者

サザンクリーンセンター
推進協議会会長 古堅國雄

住所

〒901-0401 島尻郡八重瀬町
字東風平965番地

電話

098(998)8857

FAX

098(998)9420

<http://sazankyoe.net>

「周辺の土地を地域に有益な公共施設建設に生かせないものか」行政に対して住民側から自然発生的に出た要望である。宮崎県のクリーンコアたかざきのコンセプトは「地域融和型最終処分場」施設には公園や埋め立て地を利用した室内型テニスコートが併設されている。住民の要望を最大限に取り入れた工夫が随所に見られ、周辺はフェンス一枚を隔てて民家が隣接する。稼働後も主立った苦情、反対などは皆無に近かったという。「すばらしい施設だ」「サザン協で目指す方向性が見えてきた」視察メンバーの評価は一樣に高かった▼「飛灰も含め、この工場から出るものはすべて資源物として取り扱っている。負の財産が0ということだ」他の視察先でも、先進地と呼ばれるだけのすばらしい施設ばかりであった。今回の視察により、南風原時代に解決できなかった問題に対する答えを見たような気がする。

(名)

事務局だより